

テーマ「種まき」

瀬戸内海の中心に位置し、古代から多くの人や文化・文明・宗教を繋ぎ港町として栄えてきた尾道市。

多くを受け入れ現在に繋いできた先人たちの偉業を見習い、その役割を「未来」に繋いでいくことこそ、今を生きる我々に与えられた使命といえるのではないだろうか。

物事を杓子定規にはまってみるのではなく、多角的にとらえる柔軟性、何事にも正解は一つではない、失敗こそ生きる肥やしと思えるのは多くの出会いや経験から培われる。

文明の回廊と言われたこの尾道市で、我々責任世代こそが未来に花咲かす子どもたちの肥やしとなることを美德と捉え、勉強するだけの教育とは違う、「こころ」が共に成長する真の教育を考えていきたい。そして、未来の担い手であるこどもたちだけでなく、それを提供する自分たち一人ひとりもまた共に成長し、地域のリーダーとして資質の向上につながる教育を目指したい。

21世紀に生きる私たちなりの感覚で色々なことに挑戦し、新たな日本を生きていくための発信の場として、新しい形で多くの人々の「こころ」に本質的なアプローチをかけるよう邁進する。

「過去」に蒔かれし「種」が芽を出し、花咲かす今の尾道で「未来」に花咲かす種を蒔き続ける我々でありたい。

事業計画	時期	予算
地域の希望育成事業の調査・研究・実践	通年	430,000
会員並びに会員家族と交流事業の実践	4月	100,000
例会行事	2月	60,000
例会行事	11月	60,000
会員拡大の実践	通年	
合計		650,000